

①令和3年9月保険収載された体外診断用放射性医薬品 VGCCAb RIA「コスミック」があり、以下のように表 VIII 5-2 体外診断用放射性医薬品に追加します。

表 VIII 5-2 体外診断用放射性医薬品 (追加)

分類	検査項目：臨床的意義	体外放射性医薬品	原理 ・測定物質 / 仕組
その他	<p>抗 P/Q 型カルシウムチャンネル (Voltage-Gated Calcium Channel、VGCC) 抗体：ランバート・イートン筋無力症候群 (Lambert-Eaton Myasthenic Syndrome、LEMS) では P/Q 型電位依存性カルシウムチャンネル Voltage-Gated Calcium Channel、VGCC) * の障害が生じることにより、神経筋接合部やアセチルコリン神経系の神経終末からのアセチルコリンの分泌が低下し、筋収縮の減弱や自律神経機能不全などの神経症候を呈する。発症には抗 P/Q 型カルシウムチャンネル抗体 (自己抗体) が特異的に関与しているため、それを LEMS 診断の補助のために測定する。LEMS の 85 ~ 90% で陽性となる。LEMS は四肢近位筋の筋力低下や自律神経異常症を特徴とする自己免疫性疾患であり、その 50 ~ 60% に小細胞肺癌 (Small Cell Lung Carcinoma、SCLC) を合併することが知られ、傍腫瘍性神経症候群としての側面を有する。</p> <p>* P/Q 型電位依存性カルシウムチャンネル (Voltage Gated Calcium Channel、VGCC) : 小脳 Purkinje 細胞・顆粒細胞に多く発現し、膜電位の脱分極により開くカルシウムチャンネルである。Cav2.1、$\alpha 2 \delta$、β、γ サブユニットから構成され、Cav2.1 がチャンネルポアを形成する。薬理的にクモ毒の成分 ω-Agatoxin でブロックされる。</p> <p>陽性を示す疾患：ランバート・イートン筋無力症候群 (Lambert-Eaton Myasthenic Syndrome: LEMS)</p>	VGCCAb RIA 「コスミック」	<p>RIA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血清抗 P/Q 型カルシウムチャンネル抗体 ・^{125}I-ω-コノトキシン MVIIC ウサギ脳組織抽出 P/Q 型カルシウムチャンネル (抗原) ・B/F 分離：抗ヒト IgG ヤギポリクローナル抗体による免疫沈降

②令和3年10月1日の時点で、体外診断用放射性医薬品において、以下のように販売中止があります。

- ・ p.44 表 VIII 5-2 体外診断用放射性医薬品の表内の甲状腺機能検査の体外放射性医薬品、TRAb「コスミック III」は最終基準日 2021 年 11 月 2 日をもって販売中止となります。
- ・ p.45 表内の膵・消化管機能検査の体外放射性医薬品、CG・リアキットは最終基準日 2022 年 3 月 31 日をもって販売中止となります。
- ・ p.49 表内の腎・血圧調節機能検査の体外放射性医薬品、レニン活性 (PRA)「FR」は最終基準日 2022 年 3 月 31 日をもって販売中止となります。
- ・ p.52 表内の心臓関連検査の体外放射性医薬品、ミオグロビンキット「FR」III は最終基準日 2022 年 3 月 31 日をもって販売中止となります。